



# これから 未来 の話さしよゴ!!



自然エネルギー  
主流の  
エネルギー政策は  
可能だ！

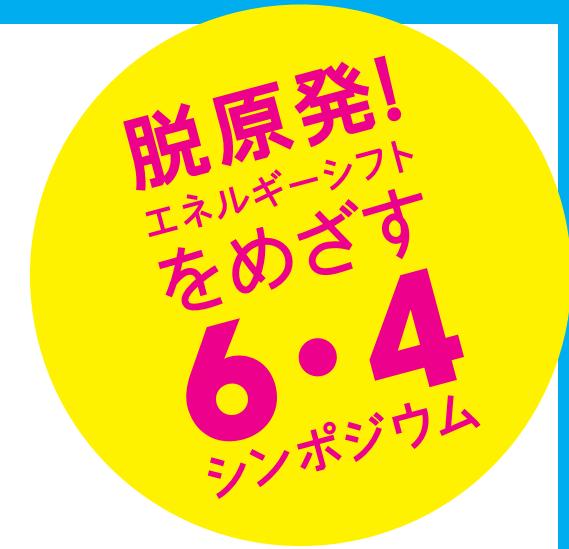
「あんなにたくさん的人がタイヘンだったのに  
どうしてゲンバツをとめられなかったの？」  
もしも、“未来”を生きる子供たちにこんな言葉で問われたら、  
“今”を生きる私たちは、どうやって弁明するのだろう。  
そもそも、「弁明すること」を考えること自体、  
本当にいま、私たちがやるべきことなのだろうか。  
“未来を生きる人たち”的に、  
“今を生きる私たち”がやるべきことは？  
「ゲンバツ当たり前」から「自然エネルギー当たり前」へ。  
自然エネルギー主流としたエネルギー政策を実現するための  
ファーストステップ！「6・4シンポジウム」から始まります！

- 日時 ➔ 6月4日(土)12時開場、12時30分開会～18時閉会予定
- 会場 ➔ 国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール
- 交通 ➔ 小田急線参宮橋駅下車7分、千代田線代々木公園駅下車10分  
(地図 ➔ <http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html> [オリンピックセンター地区] 参照)
- 参加費 ➔ 無料（資料代1000円をいただきます。）



# 自然エネルギー主流の エネルギー政策は可能だ！

ついに深刻なゲンバツ震災が起こってしまいました。  
「なぜ、私たちはこうなるまでにゲンバツをとめられなかつたの？」  
「いまも放出が続いている放射能の影響は大丈夫なの？」  
「ほんとうにゲンバツがなくなると電気が足りなくなるのかな。」  
「私たちはこれから、どうやってエネルギーと向き合えばいいんだろう。  
そんな不安・疑問の声が、いま日本にあふれています。  
けれどゲンバツの恐怖もなく、安心して笑顔でくらせる方法があります。  
それが自然エネルギーの主流化です！  
本シンポジウムでは自然エネルギーを主流化するための政策を提案し、  
議論するための5つのセッションをお届けします。  
自然エネルギーを主流化するためには、私たち一人ひとりの声と行動が必要です。  
これからの日本と私たち自身のエネルギーの未来は、  
6・4シンポジウムから始まります。



セッション

## 1 福島現地からの声

【コーディネーター】満田夏花 (FoE Japan)

- 福島現地の皆さんの報告。
- いま何が起こっているのかを聞きましょう。

セッション

## 2 私たちのエネシフト宣言

【コーディネーター】マエキタミヤコ (クリエイティブディレクター/サステナ代表)

- 国会議員、経済界、自治体など各界からのエネルギー政策転換の提案。
- これまでの原発推進一辺倒から変化が。

セッション

## 3 私たちはエネシフト実現にむけて何ができるか

孫正義氏、緊急アピール！(ビデオレター)

【コーディネーター】飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所)

【パネリスト】宮台真司 (首都大学東京教授) / 平田仁子 (気候ネットワーク)

- ゲンバツのない社会のリアリティ。「自然エネルギー」と「選べる電気」の時代を用意してきたキーパーソンが確かな解決策を提供します。

セッション

## 4 エネシフ・ミニコンサート

生田記&So-So、AQUA

セッション

## 5 未来にむけての話をしよう

【コーディネーター】小野寺愛 (ピースボート共同代表)

- いま抱いている疑問を、思い切りぶつける時間。放射線のこと、電気のこと、自然エネルギーのこと…。コメントーターがバッチャリ答えます。

セッション

## 6 エンディング IZANAI踊り

## 出演者プロフィール(一部)

飯田哲也



(環境エネルギー政策研究所 所長)

1959年生まれ。京都大学原子核工学専攻修了。先進的かつ現実的な自然エネルギーの政策提言により東京都など地方自治体のエネルギー政策に影響力を与え、また自然エネルギーの市民出資やグリーン電力のスキーム創造など、研究と実践と創造を手がける。鳩山新政権で、中期目標達成タスクフォース委員、および行政刷新会議の事業仕分け人に指名。主著に「北欧のエネルギーデモクラシー」など。

宮台真司



(首都大学東京教授)

社会学者。映画批評家。1959年3月3日仙台市生まれ。京都市で育つ。東京大学大学院博士課程修了。社会学博士。権力論、国家論、宗教論、性愛論、犯罪論、教育論、外交論、文化論などの分野で単著20冊、共著を含めると100冊の著書がある。最近の著作には「14歳からの社会学」「世界」はそもそもデタラメであるなどがある。キーワードは、全体性、ソーシャルデザイン、アーキテクチャ、根源的未規定性、など。

平田仁子



(気候ネットワーク 理事)

1970年生まれ。出版会社を経て米国環境NGO「ClimateInstitute」で地球温暖化に関する活動に携わる。帰国後、国内の地球温暖化問題に取り組む約160の団体・600人の個人が参加する環境NGO「気候ネットワーク」に参加。国内外の地球温暖化に関する政策研究・政策提言・情報提供などを行っている。共著に「地球温暖化防止の市民戦略」など。

マエキタミヤコ



(クリエイティブディレクター/サステナ代表)

1963年生まれ。コピーライター、クリエイティブディレクターとしてNGOの広告に取り組み、2002年にソーシャルクリエイティブエンジニア「サステナ」を設立。「エココロ」を通して、日々、世の中をエコシフトさせるために奔走中。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表・幹事。「フォードマイラー」キャンペーンや、「いきものみっけ」プロジェクトにも携わる。

AQUA



アコースティックデュオ。透明感のあるヴォーカルとアコースティック弦の響きが醸しだすヒーリングサウンドが持ち味。CDの売上を「安全な水と衛生的な環境を確保するための活動」に寄付する「AQUA 水プロジェクト」にも取り組む。

IZANAI

日本古来の、祭りの本来の意味、祈り、感謝を踊りに追求し、その精神と踊りを全国に伝えるアーティスト集団。  
<http://www.suga-izanai.org/izanai/izanai.html>

## 申込み・お問い合わせ先

申込み 会場の関係で事前登録をお願いします。

こちらからご登録ください(パソコンのみ)。

<http://tinyurl.com/42jwd8c>

携帯電話は

こちらから！

セッション4への素朴な疑問、セッション5へのあなたの提案も、あわせて募集しています。  
[⇒e-shift2011@gmail.com](mailto:e-shift2011@gmail.com)

お問い合わせ 国際環境NGO FoE Japan内 eシフト(担当:吉田)  
FAX:03-6907-7217 TEL:03-6907-7219 URL:<http://e-shift.org>

主催 A SEED JAPAN／環境エネルギー政策研究所／国際環境NGO FoE Japan／脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会(略称:eシフト)

※脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会(略称:eシフト)とは… URL:<http://e-shift.org/>  
2011年3月11日の福島第一原発事故を契機に、脱原発と自然エネルギーを中心とした持続可能なエネルギー政策を実現させることを決意した、団体・個人の集まりです。①「事故被害の最小化」と「責任在者の明確化」②「脱原発と持続可能なエネルギー政策に向けた政策提言づくり」と「その実現」③「市民への有益な情報発信」と「社会的ムーブメントの巻き起こし」の3つの分野で活動を展開しています。さまざまな団体の立場の違いを乗り越え、お互いの長所を活かしながら、本当に豊かで安心できる持続可能な社会を作るための大きなうねりとなっていくことをを目指しています。そのため、固定的な組織ではなく、緩やかなネットワークによる活動母体として機能していきたいと思っています。